

2021. 1. 30 編笠山山行報告書

記 柴田吉暁



計画書整理 No.

期 間：2021年 1月 30日（土）

種 別：個人

山 域：八ヶ岳（編笠山）

参 加 者：金井、河本、エミ、奥田、柴田

コースタイム：7:44 富士見高原スキー場→8:22 分岐（西岳編笠）→12:28 編笠山頂上
→15:02 分岐→15:30 富士見高原スキー場 P

記録

緊急事態宣言下のため、宿泊を避け日帰りでの山行とした。富士見高原スキー場から、編笠山・権現岳・西岳を目指す計画だったが、編笠山で撤退。

以下、詳細

早朝、神奈川県で合流し自動車です富士見高原スキー場へ向かった。緊急事態宣言の影響か、土曜日の朝にしては高速道の車通りもすこし少なく感じた。宣言直後よりも車通りが多いという話も拳がったので、少しずつ人出も増えてきているのだろうか。

高速で韮崎の辺りまで来ると南アルプスの山々が空気が澄んでいて綺麗に見えた。高速道から見る南アルプスや富士山は雪量が少ないように思えた、今年の日本海側は

大雪だという話をよく聞くが、太平洋側はあまり雪が降っていないのだろうか。そのうち八ヶ岳も正面に見え、こちらも山頂付近には雲がかかっていたが、周辺には雲がなく、天気良さそうで一安心。

小淵沢で高速おり、下道を少し走ると富士見高原スキー場に着く。駐車場はいくつかあるようだったが、登山車用の駐車場がありそこを利用。車の温度計は -50° くらい、7時半ごろ到着し、車は5台ほど停まっていた。

支度と準備運動をして、出発。駐車場から登山口まで舗装された道を歩く。雪量も少なく歩きやすかった。登山口からしばらくは緩い勾配の道でトレースもしっかりついていて、勾配が急になってくると雪量も増えてきて滑りやすくなり、歩き方に工夫が必要だった。森林限界を超える手前辺りでアイゼンを装着し、ピッケルに持ち替えた。



森林限界を超えると、風が強く 20m/s 近そうな風が吹いていた。日差しがあり、温度計では -80° くらいだったが、体感温度は低く歩いていないと寒かった。ガレと雪の交じった道でトレースはあるが大きな岩があると分かりづらかった。30分ほどで山頂に着き、写真を撮影して、強風や時間、体調などから撤退を決断。下山を開始。



下山中も森林限界より上は風が強く、身体が煽られるような感覚があった。木が近くなってくると次第に風は止み、日差しもあるので暖かく感じた。来た道戻りだったので、帰りはペース良く歩けたように思う。帰路の途中で傾斜の有る斜面で滑落停止のトレーニングを行い、15:30 ごろ駐車場まで下山。

感想

今回初めて横須賀山岳会の山行に同行させていただきました。風以外は天候にも恵まれ、5人という多めの人数で登れたので、とても楽しく良い山行でした。山行中にも、技術的な指導を適宜していただきとても勉強になりました、ありがとうございました。これからも横須賀山岳会の方々と様々な山に登り、色々な経験をしていけることを楽しみにしております。よろしく願いいたします。